



学園花の村機関紙第95号

2017年2月3日(金)

編集兼発行人 松井道夫

TEL (0537) 24-0101

FAX 24-0242

F 436-0079

〒331-1065

なりたくない？

学園花の村代表

池守 幸一

なりたくない病気といえば、誰もが認知症を上げる時代になりました。その認知症を回避するには生活習慣病にならないこと。高血圧や糖尿病にならないこと。高血圧や糖尿病の先には認知症が待っているといえます。では生活習慣病はどう防ぐか。これは食と運動、社会への関心の3点セットで防ぐ。

食とは野菜をたくさん摂ること。腸内細菌の研究が進んで、野菜の組織が腸内細菌の餌になるので、野菜を摂ると腸内環境が改善され、病気になる(なりにくい)というのです。野菜はかくも必要です。その野菜を守り育てる家庭菜園・市民農園は、食と運動、社会の関心をいながらに実現させてくれます。まさにお誂え向きです。

一方で耕作放棄の農地が広がる。

他方に病気や認知賞で老後の不安が高まる。市民皆農の今日的な意義はこの2つを結びつけることにあると、思うのです。このライフスタイルというだけでなく、国や自治体が縁探しをするようになればいいなとも思います。

今年布マルチ水稲栽培の本格的な展開が掛川でなされます。自然生態系を生かし持続可能な稲作を目指す取り組みです。

ぜひご注目ください。

昨年を振り返り新たな気持ちで

里山倶楽部

池上 隆之

我々の活動も多岐にわたり活発に行われるようになってきている。春の蕨、タケノコは順調に収穫できた。一昨年春に打ち込んだシイタケの原木は大豊作でこんなに取れるものかと驚くほどであった。花壇も春から秋まできれいに花が咲き

乱れ目を楽しませてくれた。草刈りも行き届いてきたことで倉馬の里全体がさっぱりした。秋の蕎麦はシカとイノシシの被害で全くダメでがっかり。米つくりは前年とほぼ同じようにおいしいコマが収穫出来た。初めて挑戦した大豆作りはとても順調で、思ったよりたくさん収穫できた。ミニトマトの栽培も始めたが収穫直前から病気に侵されてしまった。今年は栽培を安定させたい。年末にはしめ縄作りにたくさん参加者があった。研修旅行も春の御殿場、秋の初海外研修の台湾と良い思い出となった。リタイヤ組の我々ではあるが昨年を振り返り、反省点を改善し、あまり無理をせず健康で楽しくなおかつ新しいことに取り組みチャレンジ精神をもって今年の活動をしていきたいと思う。

2017年にあたって

光陽の里 野田 芳宏

学園花の村を引き継いで、光陽の里楽農会も早や18年余を迎えました。世話役の皆様には大変お世話になりました。皆様年齢を重ねこのままでは楽農会の継続も怪しくなつて参りました。新しく若い人たちに希望を持って新しい風を巻き起こして貰いたいと思います。幸い掛川市の方も、(*)

(*) (二面より)

当初の頃と違い、光陽の里を見直してくれるようになって来ました。光陽の里が掛川市の有機農産物の産地として見直して貰えるように頑張りたいと思います。年頭に当たり1月14日の世話役会に今年の目標を提案したいと考えております。

『動物ボランティア』

細谷 さおり

「化粧品やシャンプー、石けん等には、動物実験しているものと、していないものがあります。動物実験していないほうを選ぶことで、実験で犠牲になる動物を救えます。実験していないメーカーのリストありますよ〜。」

「FUR(毛皮)は動物から生きたまま剥がしています。『FUR』にされる動物は、毛皮工場で生まれて、狭くて不潔なケージで一生を過ごし、日の目

を見る時は毛皮を剥がされる時です。買わないことで、動物を救えます。」

「フオアグラって、どうやってできるか知ってますか?」

私はそんなことを伝えるボランティアをしています。他にも、畜産やペットショップ、サーカスの現状などが記されたちらしをセットにして、道行く人に声を掛けながら、手渡しています。

人々の反応は様々ですが、徐々に動物福祉の意識が広まってきていることを、実感します。

それでもまだまだ、私のように知らなかったという人が多いのも、現状です。なぜこんなに知らない人だらけなのか? 現状を伝えてしまおうと、反対する人が増えて、産業が成り立たないから? 私はこのことに、大きな違和感を感じます。

人は、他の生物の命を犠牲にせず生きることはできませんが、自らの日常生活の中で消費しているものの選択をすることで、犠牲になる命を減らすことができます。動物や

自然のことを考慮して作られた製

品は人にも安全なので、動物のためだけでなく、自分のためにも安心して使えますから、自分自身もハッピーになり、そんな人が増えれば人も動物も自然もみくんなハッピーになるっ♪

そんなことを楽しく想像しながら、ボランティアを続けています。

こんな変わった(!?)人ですが、倉馬に集う方々の中にはもっと変わった(と思われる)人がいるような気がしてなりません。

こんな私ですが、これからどうぞ、よろしくお願いいたします。

小関栄さん

「二宮金次郎の人間性」

を出版

—思いやりに満ちた金次郎のヒューマニティを描く—

この本は、花の村の会員で花の村

だよりの2面「花の四季」を連載の小関栄さんが執筆されたもので、神格化された金次郎でなく、庶民の心情に満ちた人間像が描かれています。

金次郎が貧しい家庭から立ち上がり、貧民救済、家計の再建、農村の復興など一人の人間としてどう思う思いで取り組んできたかを多面的な視点で平易にまとめられています。

どんな場合でも人のためにという思いやりに満ちた金次郎の気持ちに滲んでいます。

現代の世相では、この本を読んで改めて金次郎の人間性を知り、学びたいものです。

書名 「二宮金次郎の人間性」

著者 小関 栄 氏

発行 平成28年12月1日

発行所 大日本報徳社

(☎0537-22-3016)で申し込み

ば購入できる)

価格 1,400円

(記 藤本)

ナシは無しではなく可憐な花と美味しい果物

小 関 栄

ナシ(梨)と云えば水分が多く甘みがあってリンゴと並んで果物の代表。大きいのは一個三百円と高価だ。肌が赤錆色の「長十郎梨」と緑黄色の「二十世紀梨」が殆んどである。今では栽培されてナシの原木はヤマナシ(山梨)の木で、日本では平安時代から山野に自生していた。これが改良されて、さらに最近では梨畑では枝を矯めて棚垣に這わせて栽培し、施肥もして、味も一段と美味しくなった。



このナシは花も素晴らしい。四月半ばに新緑の葉とともに可憐で純白な五弁の花が開く。昔から詩歌にも歌われ万葉集、枕草子、古今集、新古今集などに見られる。さらに蕪村は「甲斐がねに雲こそかかれ梨の花」「梨の花月にふみよむ女あり」と、この花をこよなく愛して俳句を作っている。

漢名は沙梨 shali で、果肉に沙(砂)のような粒々があることから云われ、また、日本名のナシは「無し」で、アリ「有り」にか



けて「アリノキ」とも云う。面白いことに「ナシのつぶて」と云ってこちらの便りに対して音沙汰の無い場合によく使われている。(掛川果樹公園の梨園、10/25 撮影)



ナシ棚に 仄かな香り 白い花 淡水

台湾農家系列報道紙に紹介された花の村の記事

小 関 栄

右の写真は、MOA自然農法の報道(新聞)紙に掲載された学園花の村の紹介記事の一部と花の村倉馬の里のモニュメントである。

昨秋当地を訪問見学された台湾大学の留学生、李文馨、劉崇宇たちが台湾報道紙に紹介したものです。



2月18日

布マルチ稲作研究会

を開催

耕作放棄地解消運動に取り組んでいる「学園花の村」は除草剤を使わない安心・安全なお米作りの方法として「水稻布マルチ直播栽培」(愛称「お布団農法」)にたどり着き、2年ほど実施した。これは2層の布マルチを田圃に敷き詰め水に浮かべ、間の種籾の発芽を待ち、ある程度生育したところで水を落とし、水面下に生えた雑草を抑えてしまいう方法で、除草剤不要の理想的な稲作である。水管理のしっかりした田圃で行われることが望ましく、初馬地区の大井川用水利用地区が望ましいので、その成果に基づき、初馬地区の米栽培農家に広く普及させるべく昨年作った美味しいお米を試食して頂きながら、下記の通り

「布マルチ稲作研究会」を開催する。

1. 趣旨

「お布団農法」で楽々と安全で美味しいお米が出来る、水稻布マルチ直播栽培を掛川市初馬地区、倉真地区に普及されるために布マルチ稲作研究会を開催する。

2. 日時 平成29年2月18日(土)

午後1時半〜午後5時

3. 場所 掛川市水垂

水垂公民館

4. 講師 鳥取大学名誉教授

津野幸人 氏

アジア作物学会会長

アメリカ。中国で米作を指導

布マルチ稲作の考案者

5. ご案内先

- ・ 布マルチ稲作経験者
- ・ これから取り組もうとする方々。関心のある方々
- ・ 「花の村」「光陽の里」「倉馬の里」会員

・ 地元関係者

6. 連絡先

花の村 藤本 将 (080-

5088-8295)

松井道夫 (090-

4853-6920)

倉馬の里だより

新年温泉旅行日記

1月11日4時集合 川根温泉入浴

後 清水コック長労作のなべ料理

をつつきながら、新年の抱負を熱く語る。

12日 川根智満禅寺の大観音参拝

し、温泉で清めた清き心をさらに清

めて透明になった。



丸子旧街道見学と手打ちそば昼食後解散、細谷・杉山蕎麦談義なしでいとさみし。

○20日(金) 倉馬の里整備 樹木

剪定、果樹園施肥など 9:00〜

12:00

終了後幹事会(新年蕎麦会の打ち

合わせ)

○28日(土) 蕎麦新年会

蕎麦打ち組 小山教室

倉馬準備組 倉馬の里9:00集合

12時開宴

日ごろ見かけない方も是非、顔

を見せてください。

里山倶楽部、新年始動しました。



(松井 記)

1月28日

蕎麦を食す会に18名

11日の温泉旅行に続いて2回目の新年会が、バーベキューハウスで行われた。蕎麦打ち組と倉馬の里待機組と別れ、待機組は里の桜の木の選定作業。蕎麦打ち組が合流するまでに、ツリーハウスの概要に話が弾んだ。オバカン(オーバー還暦)の腕白物語がいまから始まる。僕達の秘密基地構想が夢を一杯に乗せて始まった。溝口会長の話に参加者は、「あれをしよう」「これをしよう」と幼年時代の心に戻り、夢を広げていた。蕎麦打ち組が11時30分に合流し、楽しい宴が始まった。

溝口茂子さんのシジミの佃煮や大澤さんの燻製チーズの差し入れなど、それぞれの自慢の食を持ち寄り、おでんに下鼓をうち、アルコー・ノンアルコーとコップはどんどん進みました。小山さんをはじめとする蕎麦打ち班の活躍、清水さん

の巧妙な茹で上げが功を奏し、前回にもましてさらに美味しい蕎麦に舌鼓を打つことができました。

ツリーハウス建築構想



この旨い蕎麦を食うことが励みとなって、春の蕎麦畑の作業に身が入っていくことだろう。バーベキューハウスの奥に見える三本の木をどうからませていくのか、2枚目の写真は神社の遙か上から、全体を見た物、この大きな木をどう処分するのか、考えるだけでもわくわくが止まらない。

学園花の村総会開催

総会を下記のとおり開催いたしますので皆様のご出席をお願いいたします。

1. 日時 平成29年3月22日(水)
10:00～12:00

2. 場所 花の村 集会室(「倉馬の里」)

3. 議題

(1) 28年度事業実績、会計

報告

(2) 29年度事業計画、資金

計画

花の村の理念を広め、より確実に事業が拡大できるように、事務局は頑張っておりますが、学園花の村そのものがよく見えないという声が聞かれます。花の村は倉馬の里を中心として、耕作放棄地の解消のため、オバカンの人たちが、楽しく第二の人生を謳歌している団体です。一人でも多くの人が参加してくれることを希みます。

倉馬の里には、果樹園・椎茸園・蕎麦畑が有り、日本蜜蜂を飼育したり、その他トマトや茄子など季節の野菜の珍しい物を楽しみながら試食し、春夏には旅行をしたりして、親睦を深めております。

蜜蜂グループは今年も新しい箱を用意し、いくつの箱に蜂が入るのか、楽しみにしております。美味しい蜂蜜を首を長くして、待っています。日本蜜蜂は高いそうです……

(松井 記)

光陽の里だより

新年の計画決まる

1月14日、世話役会にて、光陽の里楽農会の決算報告と新年の事業計画が企画された。詳しくは、光陽の里だよりで報告されるが、例年通り、その報告を以て総会に代えるので見逃すことのないようお願いします。ここでは概略を紹介します。

前年度繰越高 746,597
収支報告書

収入 1,385,443

地代(水道料含む)

入会金

年会費

その他(管理機使用料・

利子)

支出 1,477,105

地代支払い

水道利用料

農園整備費

雑費(収穫祭クーポン

払い戻し他)

通信費

世話役謝礼

収支 - 91,662

次年度繰越残高 654,935
会員数の増減などで減額の決算となりました。皆様方の会員勧誘の力が、今後の運営の安定化に繋がります。宜しくお願いします。

年間計画

草刈り

1回目 5月14日 9時開始

2回目 7月23日 10時

3回目 10月15日 9時

収穫祭 10月27日 11時

地主様との契約更改

12月23日 午後6時半

耕作者名簿・耕作者地図は後日配布します。

まだ空き地はありますので、多くの仲間をお誘い下さい。

害獣被害について

毎年、猪の被害に悩まされていますが、それぞれの被害状況を取り纏めて、対策を考えようと思えます。昨春秋に猪が大分捕れたか

ら、今年の春は予算がなく、只今休眠状態ですが、新年度に予算が付けば、また猪駆除も始動し始めます。地区の猟友会の方々とも連絡を取りながら、うまく運営していきたい思います。電柵についても研究会を開き、より安全で確実な方法をとっていきます。

先日、猟友会の方と畑を歩きました。猪の足跡、侵入経路等細かく、分かってきます。

敵を知り、己を知れば百戦危うからず、と申します。それぞれの畑に関してでなく、全体にどこを侵入経路としているのか、光陽の里全体の猪の歩き方を知りたい

追悼 佐藤幸子さん

一月二十五日、掛川市倉真に在住の

佐藤幸子さんが逝去されました。

幸子さんには我々のよき理解者として陰に陽に我々の活動を支えて頂きました。

また大日本報徳社の女性部長としても活躍なされました。ここに生前のご厚意に感謝し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

学園はなの村代表 池守幸一

と思いますので、情報を教えて下さい。

コシヒカリ伝説

食の安全と一口に言いますが、安全なだけがなく、旨いことも必要です。ご存じのように米は、土地の土味(地味と言いますか)が味に大きな影響を与えています。

残念ながら皆さんは、味を耳で感じているのではないかと思われることがよくある。「これ、美味しい?」と聞かれるような味に対して「旨いに決まっている。これ一粒3000円もしてる」「うわっ、本当、美味しい!」と耳で聞いた値段に味が左右されていることが良くある。

お茶の味にしても、都会の人が味に鈍感なのは、水が影響しているのじゃないか、本当に美味しい水でお茶を入れてみると、よく味が分かると言われている。コシヒカリの名前を借りて、お米が美味しいことを信じ込ませようとしているのか。

「かけがわこしひかり?」

本当の味は? (松井 記)